

消防団たずね歩き

ポートアイランドから世界へ

地域に根付いた消防団を目指しています！

【水上消防団 みなと分団】

水上消防団は昭和 22 年に組織され、神戸港の防災を担っておりました。現在はこの歴史と伝統を継承し、神戸港の守りとともに、地域住民や事業所の防火意識、救急知識の普及に努めており、本団のほか 4 つの分団で構成されています。

今回紹介するみなと分団は、国内で 2 番目の面積を誇る人工島であるポートアイランド内の一部と神戸空港島を管轄とし、国際港湾運送会社や、国際空港運営会社など、神戸と世界をつなぐ企業職員が多く所属しているという特徴があります。

【これからのみなと分団】

現在、水上消防団には総員 113 名の団員が所属しており、その中でみなと分団に所属している団員は 31 名です。年々、団員数は増加していますが、世界とのつながりが多くなっている今のポートアイランドをこれからも守っていくためにも、より多くの方に入団して頂き、神戸港の安全・安心を守るだけでなく、神戸と世界のつながりも共に守っていきたいと考えています。

(みなと分団 分団長 中村 博信)

【活動内容】

主な活動内容は、日々の消防訓練に加え、ポートアイランド内でイベントが開催された際の警備を担当し、参加者や会場の安全に貢献しています。

また、昨年度は航空機事故を想定した、神戸空港と消防隊の大規模な連携訓練が実施されました。その際は、消防団と企業の両方に所属している団員の活躍で、計画や訓練の円滑な進行につながりました。

